



決算審査特別委員会の審査風景

としま

議会だより

No.55 平成 23 年 12 月発行

発行／鹿児島県十島村議会

〒892-0822

鹿児島県鹿児島市泉町 14 番 15 号

TEL 099-222-2101

FAX 099-223-6720

= 23年9月定例議会 =

9月26日～10月5日（10日間）

一般質問

教育行政について

補正予算 4件

一般会計は、1億6898万円の増額

船舶特会は、1262万円を増額

条例の制定・改正 2件

権利の放棄 3件

平成22年度全会計決算を認定

教育行政について

○永田議員 本村教育長として、任期2期8年をふり返って、本村の学校現場（教育現場）における課題をどの様にとらえているか。

○教育長 一つ目は学習活動上の課題でございます。いろんな事象に対する考え方、また、思考するその機会が非常に少ないのではないかと私はそう思っております。一人でしか答えることができない。ここに4人とか5人とかあれば、その人たちの意見も聞くことができるにも関わらず、それが1人の自分の考えでしかものが広がらない。その他、競争原理が働かないということはご案内のとおりです。1人か2人しかいないわけですから、すぐに序列が決まってくる。すなわち、競争意識がどん



永田和彦 議員

どんどんどん低くなる。これは、

すぐに教師に回答を求める。甘えて擦り寄ってきて、自分から答えずにすぐに答えを求めようとすると。そのような姿勢も見受けられると伺っております。そういうことから、集団的な行動、活動に対する憧れもうちの児童生徒には大きいのではないかと思っております。教育委員会と致しましては、

先人達が磨きに磨いて、また先人達が一生懸命汗と知恵を出してやってきたのが、集団宿泊学習であり、中連体の大会であり、また、修学旅行でありと、いずれも七つの島の児童生徒が一緒になって動いている。数が少ないのをそういうことでどうにかして、お互いの力を発揮させようと、お互いがお互いを知り合って、伸ばしていこうと、そういうのが先人達の大きな力であったであろうと思っております。課題としては、児童生徒が抱える課題をサポートする、支援していく教職員の課題というのでもまた考えなければいけないので

あろうと思いません。ただ言えることは、うちに派遣されてきている先生方というのは、涙ぐましいほどにしっかりとっている先生方であろうと、胸を張って地域の方々にも、保護者の方々にも言えると思っております。非常に素晴らしい先生方を配置してあるんじゃないかと考えております。

○永田議員 児童生徒数の減少により、各島において、学校存続に向けて、さらなる努力が求められるが、行政として何をすべきか。また、地域には何が求められると考えるか。

○教育長 学校存続は、言いかえればどれだけ魅力ある地域社会をつくっていくかであろうと考えております。住んでいるその島に、その地域に魅力があれば、人がやってきて、人が出て行かずに、人が住み込んでいくだろうと思っております。教育委員会といたしましても、平成の世に入り、十島村や

地域社会の協力を得て、県下どころよりも、山海留学生を取り入れたのはご承知のとおりでございます。七つの島が私は全部一緒に伸びていってほしい。公平感をやはり持たせなければいけないと思っております。

○永田議員 諏訪之瀬島、小宝島の両分校について、本校への昇格について、今後、積極的に県に求めていく考えはないか。

○教育長 諏訪之瀬島、小宝島にも校長を配置したらどうかというご提言だと思っておりますが、これは県の定数のことを考えると、なかなかできないこと、難しい部分もあると思うんです。海を隔てた本校と分校の関係であるということからは、私達も十分に認識しております。県教育委員会の関係課等と相談したうえで、調査の場を設定してから、今後とも検討していかねばいけないと思っております。

平成22年度決算の概要

一般会計歳出決算 7億9800万円減少(▲19.4%)

- 船舶会計 = 県補助金の大幅増で黒字決算。燃料費は2億3千万円弱 (25.3%の増)
- 国保会計 = 国保税は減少。前期高齢者交付金 (40.8%) や繰入金 (90.6%) が増
- 介護 (事業勘定) 会計 = 保険料は6.3%の減。地域支援事業は27.5%の増
- 簡易水道会計 = 水道使用料の滞納なし 建設改良工事費が975万円増
- 後期高齢者医療会計 = 後期高齢者保険料は11.9%の減

会計名	決算額 (単位:円)			
	収入済額	支出済額	差引額	
一般会計	3,499,120,802	3,315,873,733	183,247,069	
特別会計	国民健康保険	109,841,199	98,809,417	11,031,782
	老人保健医療	3,285	3,285	0
	介護 (事業勘定)	82,816,929	75,673,002	7,143,927
	介護 (サービス勘定)	688,691	688,691	0
	船舶交通	906,017,144	893,748,776	12,268,368
	簡易水道	63,224,938	63,224,938	0
	後期高齢者医療	7,573,371	7,506,215	67,156
	(小計)	1,170,165,557	1,139,654,324	30,511,233
合計	4,669,286,359	4,455,528,057	213,758,302	

一般会計

歳入で約17%、歳出で19%とそれぞれ前年度より大幅に減少しています。その要因は、補助港湾建設費の減、地域イントラネット基盤施設整備事業の完了によるものです。歳入歳出差引額1億8324万7千円のうち1億1543万4千円は翌年度(23年度)に繰越すべき財源で、財政調整基金積立3400万円を差引いた残り約3380万円を剰余金として23年度に繰越しています。

国民健康保険特別会計

決算規模は前年度より歳入で4.3%、歳出で7.9%増加しています。歳入歳出差引額は、前年度に引き続き1000万円を超え、1100万円を基金積立しています。保険給付費は増加していますが、後期高齢者支援金は大幅に減少しています。

老人保健医療特別会計

老人保健制度が20年3月末に廃止されて以降、過年度分精算が主でありましたが、22年度には精算は生じていません。老人会計は22年度で廃止されています。

船舶交通特別会計

歳入で14.5%、歳出で9.3%前年度よりそれぞれ増加しています。平成21年度欠損額の県補助金を22年度に受け入れたことにより黒字決算となっています。

介護保険特別会計 (事業勘定・サービス勘定)

決算規模は前年度より、歳入で4.9%、歳出で9.4%それぞれ減少しています。

簡易水道特別会計

建設改良工事費の増(46.4%)により、歳出決算額も前年度より863万9千円増加しています。22年度は、水道使用料の滞納はありません。

後期高齢者医療特別会計

平成20年度から設置された特別会計です。決算規模は前年度と比較して、歳入で3.7%の減、歳出で2.6%の増となっています。

〈総務課〉

問 普通交付税や特別交付税の23年度以降の見直しは？

答 県の中長期フレームによると地方の財源は確保するとなつていくが、全体的には抑制していく方向である。地財計画では地方交付税総額を対前年度、23年度よりも減らす方針が総務省からでており、今後数年に亘つて増加はない見通しである。最終的にはどの程度まで減らされるかわからないが、方向的には地方交付税そのものが減少していくことかわりはない。

問 運用されていない基金がある。今後の運用方針は？

答 土地開発基金は運用されていない。県からは、村の判断で別財源へ充ててよいと了承を得ている。村民医療運営引当基金は、利子を村民医療費助成に充てているが、基金そのものの運用はしていない。中山間ふるさと・水と土保全基金も運用がない。時期を見て別財源へ充てたい。

問 急患へり搬送時間について

答 住民の生命に関わることであり、可能な限り時間短縮を図っていききたい。早急な搬送に努めていきたい。

問 道路維持や観光地整備など島内での臨時雇用の考えは？

答 村の一般財源を使うことにならるが、考えてみる必要がある。道路維持管理は各自治会が担っており、臨時職員を置くのは自治会との調整が必要になる。今後、財源も見ながら検討していきたい。

問 地域づくり活動について

答 先進地視察を推進して外部からの情報を取り込み、各島に適した地域づくり・振興策を検討していきたい。

問 防災計画の進捗状況について

答 現在、火山編、津波編、各島状況を踏まえ、近隣自治体や県の防災計画を参考にしながら素案を策定中である。

〈住民課〉

問 看護師の休暇対策は？代替看護師の活用は？

答 有給休暇、代休措置など、なるべく本人の希望にそうように対応している。島に空白を作らないような日程で代替看護師を派遣しているが、スムーズに対応できない場合もある。地域の代替看護師を確保しているのは口之島、平島、小宝島。1週間の代替を見つめるのは難しいが、関係機関に話をしていきたい。

問 住民医療費助成事業について、どのようか考えるか。

答 村の一番長い助成事業で住民にも浸透している。極端に縮小されることはないと考えており、制度は今後も継続していく。

問 緊急通報システムについて

答 既存の電話回線に接続するタイプで、緊急時の連絡先など個人情報登録したものを個人宅に設置する。今年中の設置を見込んでいく。

〈経済課〉

問 認定農業者制度について

答 農業の認定農家はまだない。所得基準、耕地面積、漁獲量の基準があり、なかなか基準に満たない。一産業で自立するための基準が大切である。現在、中之島の高尾で農業の近代化事業をしている。施設化をして耕地面積を確保し、年間収穫の基準を営農指導員と共に策定中である。再度詳細につめて、制度化へもつていきたい。水産についても宝島では急速冷凍機を使用した新しい漁業を考えている。早急に制度化にむけて動いていきたい。

問 友好島民について

答 新たにD会員を設立しており、23年3月までで48名になっている。現時点で70名から80名。会員特典はカレンダー、特産品を送っている。手紙やメール、電話も受けており、反響はある。今後力をいれて積極的に会員獲得をしていきたい。

〈教育委員会〉

問 各島に産業振興の農機具、機械等を導入している。有効活用については。

答 遊休農地の活用が進んでいかないと機器導入も進んでいかなない。遊休農地対策事業と合わせて、周知、お願いをしていきたい。条例に規定している機器はまだ全ては導入されていない。運営規則等も作られつつあり、宝島、中島では活用されている部分もある。検討していきたい。

問 離島漁業再生支援交付金事業についての今までの効果は。今後の対策は。

答 第Ⅱ期事業として22年度からの5か年事業でシラヒゲウニを放流しているが、定着までできていない。海藻類の植生調査についてもトカラ海域では難しいとの結果がでている。第Ⅰ期では夜光貝の稚貝を放流しているが、これ在今后の有効的な事業になっていくのではないかと思われる。事業費は翌年度へ繰越すことができる。よくよく検討を重ねて、実際に効果がある事業を展開していきたい。

〈特別会計〉

問 国保税の収納と収納率100%奨励金交付について

答 前々年度から収納率100%達成の場合に45万円特別調整交付金が交付される。22年度は収納率は100%。年度途中の加入者について所得が安定せずに徴収が厳しかった。個別の電話対応や面談等で100%達成できた。

問 フリーとしまの清掃について

答 指定寝台の枕カバー・シーツについては毎航海、毛布については通常ドック時に行っている。汚れの目立つものについては随時している。船でもクリーニング、天日干しなどして衛生面で努力している。

問 地域包括支援センターの実態について

答 木曜が包括の日となっている。高齢者宅への訪問、体操教室開催など各島の活動内容はそれぞれで、島によって差がある。活動回数が少ない島にあつては、情報提供や包括への理解を深めるような指導をしていきたい。

問 介護保険料の見直しについて

答 高齢者の増加に伴い要介護認定者数も増加し、介護給付費も上がると予想される。1000円近くの上昇が見込まれる。急激な上昇とすることで国は基金の取崩を検討している。本村も介護給付費準備基金の取崩を例年以上多くして保険料の上昇を抑えられないか検討していく予定である。

問 水道の水質検査項目について

答 鹿児島市は上水道、村は簡易水道である。検査項目そのものが異なる。簡易水道に基づいた項目で県の指導でやっている。鹿児島市は上水道なので村より項目は多くなる。

問 後期高齢者医療制度についての現在の動き、国からの説明は？

答 段階的に現行の国保と統合していく案、社会保険と一本化する案等、いろいろ考え方が議論されている。具体的な方向性は国も県に対して示していない。状況が入り次第、協議していきたい。

主な議案

専決処分の報告

○ 十島村税条例の一部改正

個人住民税寄附金税額控除の適用下限額の引下げや、租税罰則の見直しなど、地方税法の一部を改正する法律の公布に伴うものです。

関係機関に意見書を提出しました

・「離島振興法」の改正・延長を求める意見書

権利の放棄

○ 特定離島：貸付牛の金銭債権(3議案)

債権放棄額： 473,550円(1議案) 467,250円(1議案) 508,200円(1議案)

動産の買入れ

○ 23年度特定離島(畜産振興施設整備):ハックホー1台、ブッシュチョッパー1台 契約金額=1911万円

条例改正・制定

○ 十島村消防団条例の一部改正

地域の高齢化に伴い、現行の対象年齢範囲内での必要消防団員数確保が困難であることから、対象年齢を拡充し団員数の確保を図るための改正です。(60歳未満 → 65歳未満)

○ 十島村家畜診療所設置に関する条例の制定

畜産農家の医薬品等の購入を適正かつ円滑に行うとともに、家畜の福祉・畜産経営の安定による畜産振興を図るための条例制定です。

補正予算

- 一般会計 補正第2号 1億6898万8千円を増額(テレビ共同受信施設改修事業(地デジ対策)9,000千円、本土復帰60周年記念事業10,756千円、港湾関連施設工事9,372千円、災害復旧工事35,682千円)
- 国保特会 補正第1号 1059万8千円を増額(一般被保険者療養給付費9,492千円)
- 船舶特会 補正第2号 1262万9千円を増額(平島ランプドア敷鉄板設置工事が主)
- 簡水特会 補正第2号 908万6千円を増額(諏訪之瀬島水道設備ポンプ取外し用クレーン設置工事が主)

9月議会ライブ中継視聴者数

島名	9/26(月)	9/27(火)	10/5(水)	計
口之島	8	6	3	17
中之島	7	11	4	22
平島	2	2	1	5
諏訪之瀬島	5	2	0	7
悪石島	6	6	1	13
小宝島	2	3	3	8
宝島	1	0	2	3
計	31	30	14	75

編集後記

議員一同、毎定例会において、住民の皆さんに理解いただきますよう、一丸となつて取り組んでいます。12月議会には、多数の視聴をお待ちしております。

議長 日高通
議会広報調査特別委員会 委員長 平泉二太
副委員長 永田和彦
委員 有川和則
委員 前田功一
委員 用澤満男
委員 平田傳義
委員 日高助廣
議会事務局